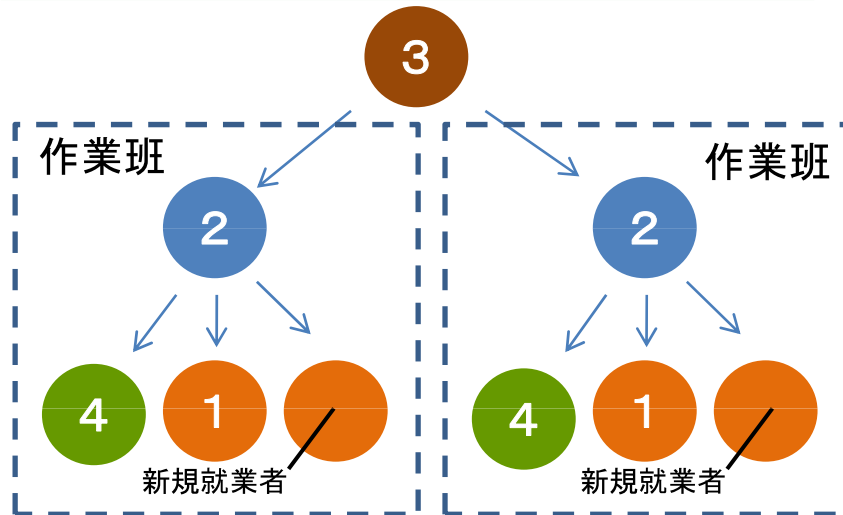


「緑の雇用」現場技能者育成対策

育成する人材の体系



- ① フォレストワーカー（林業作業士）
伐倒等の林内作業技能者
- ② フォレストリーダー（現場管理責任者）
各現場を担当する作業班長
- ③ フォレストマネージャー（統括現場管理責任者）
複数の現場の統括管理者
- ④ 森林作業道作設オペレーター
丈夫で簡易な森林作業道作設技能者

※ 新規就業者は、例えば①→②→③とキャリアアップ

間伐や道づくりを効率的に行える 現場技能者の育成

1. 新規就業者を確保・育成する。

①フォレストワーカーの育成（1～3年目）

- ①就業体験・ガイダンス、トライアル雇用等による新規就業者の確保
- ②安全かつ効率的な作業を行うための3年間の基本的な研修の実施
- ③事業体の研修指導員の能力向上研修

2. 林業就業者のキャリアアップの道筋を示す。

②フォレストリーダーの育成（5年目以上）

- 担当する現場を効率的に運営するために必要な作業班員への指導能力向上や作業の工程管理に関する知識や技術を習得させる研修の実施

③フォレストマネージャーの育成（10年目以上）

- 複数の現場を統括管理するために必要な年間計画の進捗管理等の知識を習得させる研修の実施

3. 森林作業道作設のスペシャリストを育てる。

④森林作業道作設オペレーターの育成

- 丈夫で簡易な森林作業道を作設するオペレーター育成のための研修、講師養成のための指導者研修等を実施